令和７年度　龍谷富山高等学校経営計画

１　学校教育目標

建学の精神（学園の心）

○　自己に厳しく、常に深く自らを省みて自己の完成をめざす。（内省）

○　内省によって「ありがとう」「おかげさま」を明確に表現できる。（感謝）

○　報恩感謝の気持ちから、共に手をとり合って、社会に貢献する。（敬愛・相互扶助）

２　学校の特色

1936(昭和 11)年に創立され、県内の私立高等学校の中では最も古い歴史を有する。1999(平成 11）年度より男女共学となり、令和６年度末現在で 27,936 人の卒業生を数える。

浄土真宗本願寺派の宗門校として浄土真宗の精神に則り、「建学の精神」に基づく「学園の心」を生活信条として、豊かな人間性を育む「心の教育」の推進に努めている。

社会の変化や生徒の実態に対応した教育課程を編成し、基礎学力の定着と将来の進路実現や社会生活に向けた能力・資質の向上を図ることをめざして、平成７年度より普通科教育課程のなかでコース制を取り入れてきた。

時代の流れや生徒のニーズに基づき、これまで数回コースの見直しを行ってきた。最近では、平成 29 年度入学生より新たに「特別進学」と「キャリアデザイン」の２コースを設置した。また、令和４年度入学生より、「進学・スポーツ」コースを新設し、「音楽」コースを募集停止とした。

特別活動に関しては、ボランティア活動に力を入れており、「富山マラソン」ボランティアには、第 1 回大会より毎回 40 名以上が参加し、回収運動については生徒会を中心に多くの生徒が参加している。部活動については、従来から運動部・文化部とも盛んであり、毎年複数の部が全国大会に出場している。

３　学校の現状と課題

１学年は、「特別進学」・「進学・スポーツ」で２学級、「総合」コース６学級の編制、２・３学年は「特別進学」・「進学・スポーツ」・「福祉」・「生活文化」・「ビジネス情報」・「キャリアデザイン」の６コースによる８学級の編制となっている。

ここ数年、生徒の約７割程度が進学、約３割程度が就職を希望している。ほとんどの生徒が自己の進路実現を果しているが、自主的な学習への取り組みが十分とは言えず、家庭学習が身に付いていない生徒がいるなど、学習習慣の確立と学力向上に向けての意識を高め、各自の進路目標の実現に向かって努力する意欲の高揚が必要である。

今年度も「学園の心」を基として感謝や思いやりの心をもった豊かな人格形成と、将来社会に貢献できる人間を育成するため、以下の目標を設定してその具体的な指導を行っていく。

４　学校教育計画

項　目		目　標　及び　計　画	
1	教科指導	目　標	学習活動に取り組む環境作りを通して家庭学習の定着を図り、学力向上に向けて自主的に学習する生徒を育てる。
		計　画	①学習評価に直接結び付く課題を工夫しながら提示する。 ②年数回学習調査を実施し、生徒が自らの学習を見つめなおす機会とするとともに、教員は実態を把握し、学習意欲を喚起する。
2	宗教教育	目　標	「学園の心」の具現化に努め、教室での礼拝や行事を通して宗教的情操の涵養を図る。
		計　画	①宗門校教員としての意識を高めるため、多くの教員が生徒への講話の機会を持つ。 ②宗教行事で生徒が話す機会を設け、同世代の思いや考えを知り、己の日常に対しての刺激を与える場とする。

3	進路指導	目　標	進路について高い目標を設定し、目標に向かって積極的に行動する生徒を育成する。
		計　画	①各学年で進路ガイダンスを行い、進路に対する意識の向上を図る。 ②生徒の進路に関する情報収集と情報共有を積極的に行い、個別指導と全体指導をうまく組み合わせながら、学習指導と進路指導を効果的に行う。
4	生徒指導	目　標	①社会で活躍するために必要なコミュニケーション力と規範意識を育成する。 ②現代の社会に適した校則やルールづくりを行う。
		計　画	①挨拶・規範意識の向上を図る。 ②学園生活調査や面談等を通して生徒の現状把握に努め、「いじめ０」を目標に心の教育を推進する。 ③交通安全教室や集会を通して命の大切さを伝える。
5	特別活動	目　標	学校行事や生徒会活動、部活動、SDGs 活動等を通し、自主性・責任感・協調性などを育成する。
		計　画	①月１回の定例委員会は、他の分掌と連携を取り、活発な委員会活動を行う。 ②代議員会を実施し、学校行事に生徒の意見を反映する。 ③学年ごとに SDGs 活動への新たな取り組みを考え、取り組ませる。
6	環境と 健康指導	目　標	①「きれいな学校・気持ちの良い学校・安心して過ごせる学校」を目指し、常に整理整頓が届き丁寧な清掃活動や進んでごみを拾う姿など日常化する学校を目指す。 ②健康診断後の受診率の向上を図る。
		計　画	①教員も一緒に清掃活動を行い、環境美化に対する意識を高める。 ②「ほけんだより」や「保健講座」を通して健康に関する情報を提供し、自己管理意識を喚起すると共に、保護者懇談会等で健康診断後の受診勧奨を行う。

５　学校重点課題（学校アクションプラン）・・・　別　紙